

令和8年度 第1回技術研修会のご案内

日時	令和8年7月3日（金）13：30～16：30
会場	アバンセホール（佐賀県立生涯学習センター） （佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011）
主催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後援	佐賀県、（一社）佐賀県建設業協会、（一社）佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
研修項目	(1) 13：40～15：00 「下水道事業の未来を切り拓く～宇部市モデル・コンセッション導入へ～」 山口県宇部市 土木建設部 部長 國司 哲也 氏 日本の下水道事業は、老朽化・担い手不足・財源難という危機に直面し、従来の経営形態では持続が困難な状況である。この課題解決に向け、本市は官民共創による「宇部市モデル」を構築し、30年間のコンセッション事業を導入した。 本事業は、官民の技術共有や災害時の連携による相乗効果（宇部市モデル）及び、長期契約を活かしたDXによる徹底した効率化が特徴である。さらに、下水汚泥のエネルギー転換や地元連携を通じ、環境負荷低減と地域経済活性化の両立を目指す。将来的には広域連携も視野に入れ、次世代へ安心を届ける強固な経営基盤を確立する。 今回は、導入までの検討プロセスや課題対応、本事業の特徴と展望についてお話する。 (2) 15：10～16：30 「九州の道路メンテナンスを支える九州道路メンテナンスセンター ～役割とこれまでの取り組み～」 国土交通省 九州地方整備局 九州道路メンテナンスセンター 技術第一課長 梶尾 辰史 氏 建設専門官 渡邊 竜一 氏 九州道路メンテナンスセンターは急速に老朽化するインフラに対し、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進するため、令和4年4月に開設。九州地方整備局管内における国が管理する橋梁の診断等を行うだけでなく、橋梁を中心とした地方公共団体からの技術相談への対応や、直轄診断・修繕代行事業、研修・講習会の開催、また、九州に多く分布する石造アーチ橋（石橋）に関して「道路橋石橋の定期点検に関する参考資料」や「損傷事例集」の策定を行うなど、地方公共団体への技術支援に取り組んでいる。本講演では、当センターの業務内容や関係機関との連携体制、これまでの支援実績の他、石橋に関する技術基準の概要等について紹介する。
対象者	地方公共団体等職員、建設事業関係者（県内優先）、一般の方（大学生以上）
定員	300名
参加料	無料
申込方法	当機構のホームページ（ https://www.sagacat.or.jp/gi_jyutsukensyuu.html ）よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。 <u>『研修情報』→『技術研修会』→『令和8年度第1回技術研修会申込』をクリック！</u>

申込期間 令和8年6月8日(月)14:00～令和8年6月19日(金)17:00

(定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施予定。

令和8年6月24日(水)14:00～令和8年6月26日(金)17:00)

問合せ先 (公財) 佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課

TEL 0952-97-5596

その他 (1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。

(2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(プログラム番号1083384 形態コード101-1 3ユニット)、(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(プログラム番号202606040003 2.66CPD単位)の認定プログラムに承認されています。